図書部門

総評

今年は、全体的に、現代社会の問題「福祉」と「環境」を題材とする作品が多く見られ、なかでも、身近な人をテーマとして書かれたものが目立ちました。また、新しい視点からのユニークな自由研究の作品もあり、審査の先生を楽しませてくれました。一方では、言葉の乱れが目立ちました。字のまちがいがないか、きちんと段落が設けられているか、などの作文の基本的なきまりを守りましょう。くり返し確認することで、はじめて一つの作品が完成することを忘れないでください。みなさんの力作を期待しています。

文部科学大臣奨励賞

ほたるの夕べ

千葉県 昭和学院小学校 4年 伊藤大貴

ぼくたちはバスに乗って町のはずれの公園に行った。どうやら、町内会のイベントらしい。入り口には「ほたるの夕べ」と書かれた看板が大きく立てかけてあった。

公園のあちらこちらでは、口々になったり文句を言ったりする人や、懐中電灯の光で木の葉が少し光ったのを見て「ほたるだ、ほたるだ。」とさけぶ人、いろいろな人がいた。すると、まっ暗な林の中から一つの光がふわっと飛んできて、近くの枝にとまった。それはぼくが今まで見たこともないやさしくふわふわした光だった。結局、ぼくが見ることができたのはそのほたる一ぴきだけだった。

あとで聞いた話だがそのほたるは自然のものじゃなくて、町内会の人たちがイベント用に買ってきて、公園にあみをはりその中でほたるを放して飛ばしていたらしい。

おばあちゃんが言っていた。昔はどこでもほたるを見ることができたんだって。人間が、自然をこわしたせいで川がよごれ、ほたるが生きられなくなったんだ。人間の自分勝手な行動でほたるを追い出しておきながら今度はイベントのためにほたるを買ってきてせまいあみの中でとばしている。そう考えると、何だか胸がギューっと苦しくなった。

イベント会場のあちらこちらではアイスクリームややきとりのゴミが山のように捨てられていた。

今、ぼくたち人間は自分勝手に自然をこわしていったせいで、さまざまな危機にさらされている。それはきっとぼくたち人間のことを地球がおこっているのだと思う。

これから二十一世紀を生きていくぼくたちがしていかなくてはいけないこと、それは自然を守り、昔のように町のあちらこちらでほたるが自由に飛びまわることができるそんな美しい世界をよみがえらせることなんだと思う。見せかけの自然なんかじゃない本当の自然をね。

ぼくが生まれてはじめて見たほたるくん、「がんばれ。」ぼくは君たちが、自由に生きられる世界になるようにがんばってみせるよ。（抜粋）

「ほたるの夕べ」を通して、胸にこみ上げる正義感と社会への批判を素直に書き表しています。タイトルも工夫されています。

中央出版株式会社 社長賞

かいじゅうユメゴン

宮城県 仙台白百合学園小学校 4年 髙松詩織

今日の夕食は「肉じゃが」。私も妹も大好きなメニューだ。おいしくて、口いっぱいにつめこんでいると、「イヤー、イヤー、ブー。」わが家のかいじゅうユメゴンがあばれ始めた。

このユメゴンの正体は私の妹。「夢香」、という名前の二才のかわいい女の子なのだが、自分の気に入らないことがあったり、思うようにいかなかったりすると、とたんにかいじゅうに変身するのだ。

赤ちゃんの夢香はとてもかわいいけれど、お父さんやお母さんの目が夢香にだけ向いているような気がして、さびしくなった時もある。でも、だんだん大きくなってきた妹が、「シオー、シオー。」と私の名前をよんで、よちよち歩きしてくるのを見ていると、とってもかわいくなってきた。私の顔を見ると、うれしそうにくしゃくしゃ顔をする妹。おもちみたいなほっぺにチューしたくなる。

私の妹はとてもかわいい女の子。でも、みんなから「ユメゴン」とよばれている。ユメゴンが大きくなった時、私のこと、「詩織おねえさん」ってよんでほしいな。そうしたら、「夢香」って、心からよんであげたい。（抜粋）

妹の様子をよく観察し、生き生きとしたユニークな文章で書くことで、妹への愛情が伝わってきます。

子どもの文化・教育研究所 理事長賞

中山せいかん

沖縄県 浦添市立宮城小学校 2年 城間盛登

うらに琉球の千代紙をきれいにはり、カラフルな絵で一つ一つていねいに作っています

沖縄の方言について、本で調べたり、琉球大学に実際に聞きに行ったりして、とてもていねいに調べ上げています。

「指をけがした」を沖縄の方言で表すと「指をちっぷがす」となります。この言葉が友達に通じなかったことをきっかけに城間さんの研究は始まります。クイズ、豆知識、さらには「あしびなー」という沖縄の方言の楽しいカルタまであり、盛りだくさんの内容になっています。また、ところどころに城間さんのおもしろさがにじみ出ている表現が見えかくれして、ついつい引きこまれてしまいます。

これを読んだら沖縄の方言博士になれることまちがいなしの力作です。

北海道新聞社賞

快適生活

北海道 札幌市立山鼻中学校 1年 藤田泰生

ストレスに悩まされるのは、大人に限った事ではない。中学生の僕も、ストレスによるイライラを自覚する時がある。今の小・中学生が最も執着し、気をつかっている事は、友達関係だと思う。

僕は、表面的な友達の数だけ多く、どこか孤独で無気力な自分になりたくない。だから僕は自分らしく、たまにはひとりの時間を楽しむ、心の余裕を持つことを提案する。そうすればきっと、快適な生活が送れるだろう。（抜粋）

ストレスをテーマにした、おもしろい作文です。

社団法人 日本児童文芸家協会 会長賞

ぼくの絵本「家を作ったバッタくん」

東京都 東京学芸大学教育学部附属小金井小学校 2年 前田怜右馬

バッタくんがかまきりを飛びこえる場面からはバッタくんの、「ジャーンプ」と言う、かけ声が聞こえてくるようです

完成した家を前に、楽しそうな虫たちの様子が、生き生きと伝わってきます。色の使い方も見事ですね

バッタくんが自分の家を作るまでの楽しいお話です。

主人公のバッタくんが色鮮やかに生き生きと描かれています。また、くも、かまきり、ちょうちょ、いも虫も表情豊かに表現されており、今にも絵本から飛び出て、しゃべり出しそうです。

この絵本は、バッタくんがくものすを見て、自分も家を作ることを思いつくところから始まります。こわいくもや、かまきりもとびこえ、くわがたをびっくりさせないように、材料を集めて家を作ったというのに、家はいも虫たちに食べられてしまいます。しかし、ちょうちょに助けられて、もう一度、みんなでいっしょに家を作り、住んだというお話です。

このお話のおもしろいところは、家が完成するまでの様子が描かれていくだけではなく、とちゅうで家が食べられてしまうというハプニングが起こってしまうことでしょう。先をどんどん読みたくなるテンポのよいお話です。

河北新報社賞

「リンカンがひげをはやしたわけ」を読んで

宮城県 仙台白百合学園小学校 4年 白鳥菜那子

「ほおひげをはやせば、もっとりっぱに見えると思います。そうすれば、みんながあなたに投票することでしょう？……。」

十一歳になったグレイスの手紙を読んだリンカンは、ひげを生やすことにしました。

小さな私でも勇気をもてば、世界を平和に変えられるかもしれません。私もグレイスのような勇気をもちたいと思います。（抜粋）

思ったことが素直に表現されているところが評価されました。

日本子どもの本学会 会長賞

「わすれられないおくりもの」を読んで

大阪府 賢明学院小学校 3年 寺田純世

わたしのおじいちゃんは、今年の八月になくなりました。アナグマさんがみんなにいろんなことを教えて死んでいったように、おじいちゃんもわたしにいろいろ教えてくれました。

アナグマさんに、一人でたくさんの仲間たちにちがうことを教えられるような知恵があったのは、お父さんやおじいさんに教えてもらったからだと思います。そして、仲間たちも、自分の子どもに教えるというように、知恵はくさりのようにつながっていくのです。

冬の間はとうみんをするために一人でアナグマさんのことを考えていたけれど、雪がとけて外に出られるようになると、みんなあつまって教えてもらったことを語り合いました。

みんなの悲しみがなくなったのは、冬の間自分のところに一つしかなかったおくりものがみんなと語り合うことによって、一人一人の心の中に他の人の分まであつまって、心の中の悲しみをおい出したのだと思います。

形のある物は、こわれたりなくしたりしていつかはなくなってしまうけれど、アナグマさんがみんなにあげたおくりものは、形はないけれど、けっしてなくなったりしないおくりものだと思います。

わたしは、おじいちゃんからもらった形のある物も大切にしていきたいけれど、おじいちゃんに教えてもらった形のないおくりものも、頭と心の中に、だいじにしまっておきたいと思います。（抜粋）

本の登場人物と身近な人を重ね合わせたことで、作品としての深みが増した文章となっています。

優秀指導者賞

発達特性に合う国語科学習指導の工夫

滋賀県 竜王町立竜王西小学校 堀 春美

優秀賞

- ●あやちゃんとわたし（その他）
  東京都 白百合学園小学校 2年 小出智子
- ●はたけの水まきをしたよ（作文）
  愛知県 西尾市立室場小学校 2年 星井富士美
- ●わたしの読んだ い人でん（自由研究）
  東京都 白百合学園小学校 3年 増田恭子
- ●2才児の弟の言葉調べ（自由研究）
  岐阜県 柳津町立柳津小学校 5年 熊田奈実
- ●てんじをやってみて（自由研究）
  岐阜県 柳津町立柳津小学校 5年 谷村美紀
- ●マナーって何だろう（作文）
  愛知県 西尾市立室場小学校 6年 三浦 縁
- ●「はるか ニライ・カナイ」を読んで（読書感想文）
  愛知県 名古屋市立城山中学校 3年 上原由果梨

海外在住者賞

- ●お母さんの赤ちゃん（作文）
  アメリカ フィラデルフィア補習校 4年 青山ジュリエン
- ●悪魔の兵器・地雷を読んで（読書感想文）
  ドイツ ミュンヘン日本語補習授業校 6年 クルニッグ アルフォンス
- ●テニスとの出会い（作文）
  アメリカ ボストン日本語学校 中学1年 オーナタウスキー ジャステン 拓